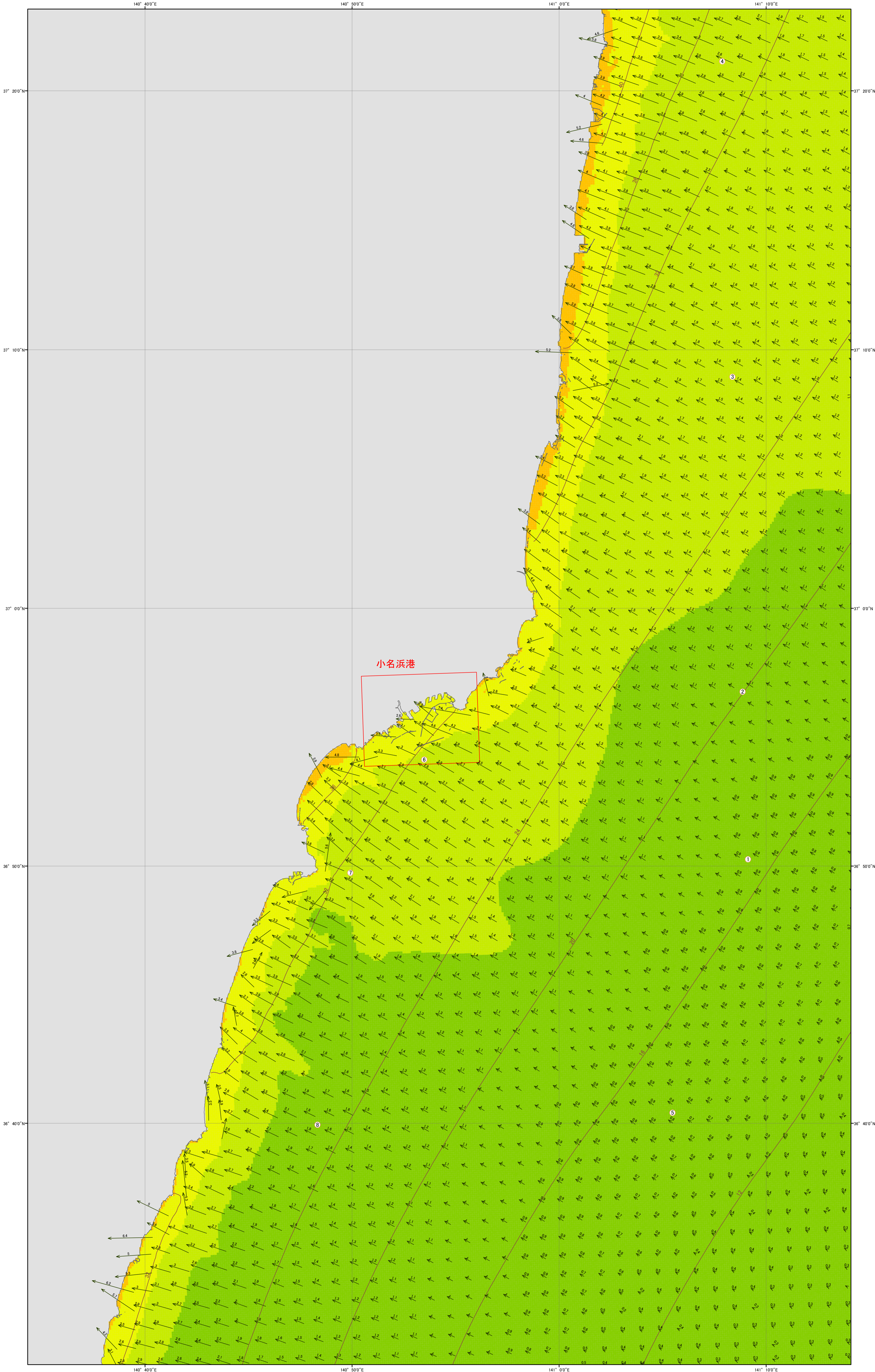


計算条件: 最高水面(零位)
隆起量: 平均 -0.16m(-0.50m ~ -0.05m)
Zo: 0.84m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。

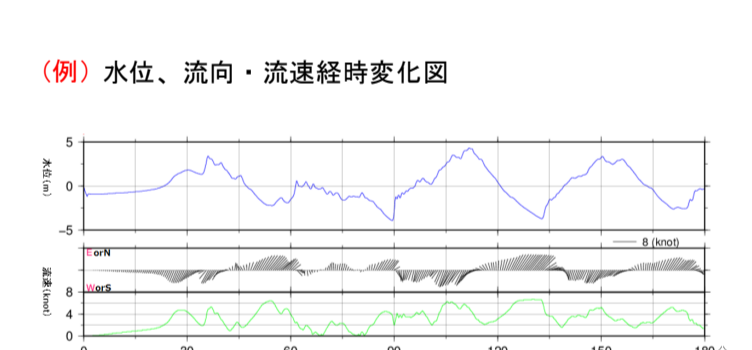


凡例

水位上昇(+10cm)となる等時線(分)

- 最大水位上昇: 5m~, 3~5m, 2~3m, 0.5~2m, 0.5未満

経時変化図出力点 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

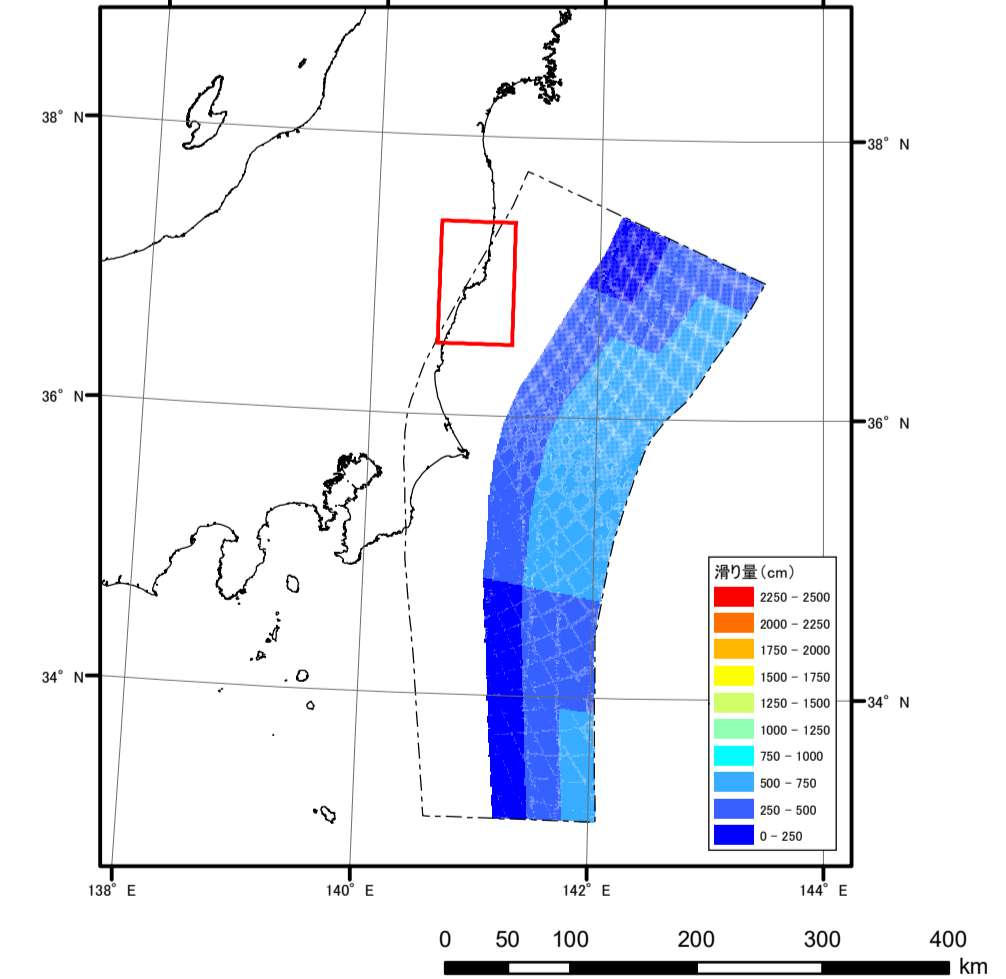


進入時最大流 (knot)

- 3 knot, 2 knot, 1 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を示している。
- 流向、流速については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



延宝房総沖地震
モーメントマグニチュード Mw 8.5

本断層モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関: 海上保安庁
防波情報提供部署: 平成25年1月(初版)
地学データ作成年月: 平成29年1月(初版)